

いっしん

Vol. **145** 2024 3

社会福祉法人 一心福祉会
<https://www.isshinfukushikai.or.jp/>



法人ホームページはこちらから。
携帯・スマートフォンからでも
広報いっしんを閲覧できます。

——地域貢献活動——
**東村民の森つつじ園にて
つつじの新芽取り作業に参加**

これまでの人材育成 これからの人材育成



やんばるの家施設長 新城 靖史

私が一心福祉会に入職したのは、平成五年である。その頃、人材育成と

成がいかにも急務であるか、考えさせられる記事であった。

会でも職員のキャリアパスをしっかりと構築し、職員との対話を大事にしな

いう言葉をあまり耳にしたことがなく、仕事は先輩の背中を見て覚える、飲みにケーションで仕事のことを相談するなど、和気あいあいと過ごすことが普通だった。しかし、昨今では世の中も様変わり、平成十一年十一月号の広報「いっしん」ドキュメントNo.3にて、当時の理事山城永盛氏が掲載していた記事の中で、「これからは、変革の時代に対応しうる職員の質、いわゆる人材の育成が先決」だと書いているものを読み返すと、今人材育

今の日本社会は、我々福祉業界だけではなく、すべての業界で人手不足である。その背景には色々な要因はあるが、特に少子高齢化の加速、二〇二〇年に新型コロナウイルスが大流行し、一心福祉会においても県内外の研修の多くがストップしたことや、職員とのコミュニケーションも十分に行なえず、職員の離職にも少なからず影響したと思われる。二〇二五年問題や、二〇三〇年問題を目の前にして、私たち一心福祉

がら、県内外の研修参加や、資格取得の奨励を積極的に進めることで、スキルアップを図り、一心福祉会をさらに発展させ、先人たちの思いを継承すべく人材の育成に力を注いでいくことが重要である。

最後に一心福祉会の理念や、一心福祉会が目指す方向を、一緒に共有できる人材の育成と同時に、職員が定着できる風通しのいい職場風土を作り上げていくことが、最優先に取り組むべき課題である。

障害者支援施設部会全国大会 九州地区沖縄大会

グループホームえすの里 砂川 和真

今回の研修参加は、障害者支援の現状と未来への理解を深める重要な機会でした。自由な議論が奨励されるOST形式の分科会では、私たちの創造性と協同作業の精神が刺激されました。「どうありたいかを語ると、どうするかが見えてくる」というテーマのもと、参加者が地域で生活する権利の保障について深く考えさせられました。特に、デジタル化の推進の重要性が強く印象に残りました。「業務省力化とデジタル化」をテーマにした分科会でのグループ討議や、その場でのQRコードを使ったアンケートに答えることで、参加者情報が一挙に反映される様子を示しました。また、SNSを活用した効率的な業務

連絡もデジタル化の重要な要素として浮かび上がりました。これらの事例から、業務のデジタル化と職員のスキル向上が極めて重要であること、そしてそのためには予算の確保とIOTなどの専門部署の設置が急務であることを痛感しました。この大会から得た経験は、日々の業務における課題への創造的かつ効率的なアプローチを見つけ出し、実践するための大きなモチベーションとなりました。デジタル化、特にホームページを活用した情報発信の強化を含む積極的な取り組みを通じて、利用者が地域で充実した生活を送れるように支援施設のサービス品質を向上させることに、一層の努力を傾けていきたいと思います。

全国身体障害者施設協議会
第十一回職員スキルアップ研修

『個別支援の実現に向けたケアガイドライン』

一心療護園 金城・仲間

ケアガイドラインは、日常生活支援や良質かつ安全な支援のための仕組み作り、さらに地域を支える福祉拠点としての取り組み等の内容で構成されています。

今回の研修では、施設におけるサービスの多様

化と質の向上が一層図られ、利用者の個別支援の充実や日常生活及び社会生活両面でのサービス提供体制が整備されるよう、ケアガイドラインを活用する必要性を学びました。

桜見物へ行ってきました！

一心療護園

一心療護園では、一月末～二月上旬にかけて名古屋市と本部町に桜見物ドライブを実施しました。利用者の方からは「桜きれいだね」「このアメリカンドック美味しいね」と口々に感想が聞かれ、短い時間でしたが春を満喫されました。



おやつもおいしくいただきました。



久しぶりのドライブ気分も上がります



園庭の桜もきれいに咲きました

アラシロ ショウコの部屋

中秋の名月

やんばるの月にふりてるわね来やしが。

古の昔から満月といえはうさぎ、なぜにうさぎ？。ここはやんばる、緑ふかい森に住むぶながや君。星のよぞらみあげつつまぶしい月、白い砂に寝ているあかい髪に月明かりあたり益々赤くみえ。いつの間にかあさ、ごそごそ頭をつつくよくみると赤いソックスの奴が落ち葉のうえ焚き火はじめた。ぶながやくん、目こすりがじゅまるからとびおり何やらおいしそうないい匂いにおなかゴゴいいはじめ。満月のおおきい月みて想う、むかし遊びあかしたおとうとのアカナー、やんばるの山々をふたりして荒らしまわり木にいっぱい実みかんや柿むだんでたべまくりいたざらざらまい。山のかみに、アカナーよ月へいき掃除めいじたとき。

― 絶筆 ―

【寄附】

故新城昌子様のご家族よりご寄附をいただきました。寄附金は福祉事業推進の為に大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

くまもんにあうもん



就労センターえすの里 前田 久志

九州地区知的障害者福祉協会、種別部会・合同研修会に参加する為、遠路はるばる熊本県に行ってきました。「希望が実現する！サステナブルなまちづくり」を大会テーマとし、中央情報報告と各部会に分かれての研修でした。第四分科会では

生産活動・就労支援系の取り組みでいる報告を聞きました。いかに就労系の事業で地域を巻き込みながら、地域を活性化させ、地域社会を持続可能に出来るのか。二つの事業所が実際に行っている報告はとても興味深く、勉強になりました。



くまもんと記念撮影

デイサービス やんばんる

鬼ムーチー作り



デイサービスでは、毎年旧暦の十二月八日前後に鬼ムーチー作りを楽しんでいます。最近では餅を喉に詰まらせてしまう事故が多くあるので、デイサービスセンターではモチモチ感と歯切れの良さを出すために絹ごし豆腐とサツマイモをもち粉に混ぜて作り、安全に食

べてもらおうように配慮しています。

午後のおやつとして利用者様に提供すると、「柔らかくて美味しい」「元気な時は自分で沢山作っていたけど今はお店で買っている」などの鬼ムーチーについての声が多く聞かれました。



材料を入れて丁寧にまぜます



おいしそうでしょう

やんばんるの家

クリスマス忘年会



去った十二月一日、クリスマス忘年会を開催しました。会の中では利用者も大活躍で、乾杯の音頭を上間信男様、余興として平良則子様と職員がデュエットもあり徐々に盛り上がりついできました。食事では大きなチキンがあり、かぶりついて「美味しい」の声がいつぱい。食後は職員の余興ダンス、外部からは徳八琉太鼓保存会の太鼓演奏があり盛り上がりはピーク！

温かくなったり、寒くなったりの今日この頃ですが、やんばんるの家では園庭で外気浴を行いました。

みなで外気浴

コロナ禍の影響もあり、外の空気を吸うことも少なくなつたこの数年間、「外の空気も吸わせたいよね」と会を企画、桜もぼつぼつ咲き始め利用様も「あい、桜が咲いてるねー」と大喜び、終



大きなチキンに思わず笑みがあふれます



外の空気はおいしいねえ

始和やかな表情で過ごされ、最後は皆で「かなさんどー」を踊りリフレッシュしました。



みんなで記念撮影、ハイチーズ！



外で食べるサーターアンダギーはおいしい～



すばらしい演劇、見ごたえありました



アートですな～

③旧塩屋小アートフェスティバル見学
（頼張る）

②名護市内ドライブ

（ドライブスルーでコーヒーを注文しコスモス畑を見物し道の駅でサーターアンダギーを頼張る）

①【沖繩燦々】鑑賞

（大宜味小中学校体育館にて）

いっしんでは従来の集団での余暇活動見直し、個別で職員とゆっくりとその時を楽しめる外出を行っています。

小規模 いっしん

がっつてみよう！
やっつてみよう！

一月十八日、利用者、職員皆で鬼ムーチーづくりを楽しみました。

鬼ムーチー作り

グループホームつつじ苑

餅粉、芋、豆腐を耳たぶほどの柔らかさになるまで練りこみ、利用者様には好きな数だけ月桃に包んでもらいました。蒸しあがったムーチーはおやつの時



ムーチー食べて健康になるぞ～

令和六年一月、利用者の皆様健やかに新年をスタートされました。

お正月「かるたどり」

グループホームきじよか

冬の厳しい寒さを感じる日が増えてきました。新年気分を味わうためにカルタ取りを行いました。かるとは、脳の活性化を図るレクリエーションでもあります。脳トレにも良いですが、一番は入居者様に楽しんでいただけるよう行いました。



サア～皆さんカルタ取り始めますよ～

十六歳の時、勤労学生として鹿児島に渡りました。汽車で福岡県戸畑の



デイサービス利用者
仲井間 幸子さん (94歳)
(饒波区)



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」(ライフヒストリー)と題してご紹介する企画です。

親戚のところに行き、さらに神奈川県芝浦電機で働き、空襲で寮が全焼し命からがら知らない人と山に避難するという経験もしました。沖繩に帰ってきて二十歳ごろ前田組(大工)の事務員をしていました。五歳年上の夫(宗助)とは親戚のおばあさんの仲介で結婚しました。彼は学校時代ウーマクー(暴れん坊)で私もよく知っていました。知らない人でもないし、いいなと思いついて結婚しました。結婚式というのは特に何もしなかつたです。夫は当初は那覇の国場組で働いていました。六男一女に恵まれました。三男までは那覇生まれです。饒波に戻ってきて炭焼きの仕事を始めました。集落には同じ仕事をしているところが数件ありました。山奥で川のそばに木炭窯を設けて炭焼きをしました。炭にしたものは私たち女性が頭に、ティルをハサギで(籠ひもを頭にかけて背負う)※写真③

里まで運びました。里では炭を束ねる作業がありました。ススキを山から刈ってきて茎をひも状



⑤タンゲー(炭俵)を編む幸子さん



写真④ タンゲー



写真③ ティル



②木炭窯の前で右端夫宗助さん 右から2番目幸子さん

軌道に乗ってきたので仲井間林業という会社を興しました。夫は七十二歳で亡くなりましたが子供達が後を継いでしつかりとやってくれています。私は子育てが落ち着くころ生活のために外に仕事に出るようになりました。最初は集落の公民館で子供たちを集めて保育のような事をしてると喜如嘉保育所が公立となりそこに採用され定年まで勤め上げました。その後は婦人会、老人会の会計や役員を仰せつかり様々な活動を地域の方々と一緒に行いました。特に老人会活動のカラオケ、フォークダンス、大正琴、生け花等趣味活動は多岐に渡り色々な人との交流や県内外視察旅行などを楽しまました。年齢を重ねると後輩が引き継いでくれるようになり一線を退きましたが、皆が集まり笑顔で和気あいあいと集うことが何よりの楽しみでした。車の免許を持っていたからあちこちに行けたり、人を誘ったりできたので、私が五十三歳の時に免許を取ることを勧め車を買ってくれた長男には感謝し



仲井間家の家族

大宜味村史『写真集』より抜粋
聞き取り及び写真協力
大宜味村史編纂室
名護博物館

ています。九十二歳で無事免許返納しました。今の夢は「自分も皆も、元気で仲良く」です。本人に聞き取り
※写真②⑤説明コメント
電気・ガスが普及するまで、木炭や薪は生活必需品で、数少ない山原の特産品だった。木炭はススキの茎で編んだタンゲー(炭俵)に詰めて出荷された。それらはやんばる船に積み込まれて都市部に運ばれ、帰りの船には日用雑貨などを積み込んで共同売店や個人商店に卸された



女子から男子へ手づくりデザートプレゼント♡

今年のバレンタインデーはババロアにクリームと苺をのせてチョコをトッピング!!毎年バレンタインは手作りを♡そして男子利用者さんも楽しみにしてくれるようになりグループホームでの恒例イベントになりました。

イチゴ味のババロアの甘い香りが漂う中、それぞれクリームやトッピングを真剣な表情で飾る姿が印象的でした。

女子は自分で食べる物はしっかりと確保してからの、可愛くラッピングし

グループホーム えすの里

山内 美園

たプレゼントを男子へお届けしました。

えすの里は去った一月中旬に大宜味村産業祭りに出店しました。天気にも恵まれ多くのお客様にえすの里の野菜や飲食物を購入して頂くことが出来ました。利用者さんも一緒に店頭に並び、商品の紹介を大きな声で行い、自分たちで作った野菜をドヤ顔で売る姿は頼もしく、地域の方と触れ合う姿を見守る私たちも笑顔になりました。

産業祭り出店!!

就労センター えすの里



大宜味村石山展望台へ花見ドライブ行ったよ



今年はキャベツ、ダイコン豊作。どれも上等ですよ～



利用者・職員による幕開け「かぎやで風」

えすの里では、一月二十六日辰年生まれの生年祝いを開催しました。今年も男性利用者七名が生祝者で、「かぎやで風」の幕開けから余興の琉舞「高平良万歳」等利用者、職員で力を合わせてプログラムを進行し、手作りの心温まるお祝いになりました。

参加された生年者の家族さんからも「踊り凄く良かった、芸能人みたいだ」とお褒めの言葉をいただきました。

辰年生年祝い

えすの里



生年者を囲んでご家族と



利用者全員でダンスを披露しました。



鬼はそと～
福はうち～



デイサービスセンター
やんばる
名護市川上の
コスモス畑へ
花見にでかけました♡



2月3日えすの里
節分イベント

募集 一心福祉会 職員募集のお知らせ!

- ①介護員 ②生活支援員 ③看護師 ④世話人 ⑤登録ヘルパー

◎雇用形態：①～③正職員、④・⑤パート
 ◎待遇：当法人規定による ◎昇給1回 賞与2回 ◎社保完備・各種手当有り
 ◎退職金制度有り ◎面接随時受け付けております。(履歴書持参)
 ◎ハローワーク・ホームページにも職員募集に関するページがあります。
 ◎興味のある方は是非一度ご連絡・ご相談下さい。

問い合わせ先：0980-44-2234 (担当：辺土名 香)

◇◇◇◇◇ 一心福祉会 老人介護施設入所 待機者状況 ◇◇◇◇◇

施設名	定員	空き状況	待機者
特別養護老人ホーム やんばるの家 (☎0980-44-2288)	50名	0名	29名
デイサービスセンター やんばる (☎0980-44-2033)	25名(1日)	3名	3名
小規模多機能ホーム いっしん (☎0980-44-2662)	25名	4名	0名
グループホーム きじよか (☎0980-44-3015)	9名	0名	1名
グループホーム つつじ苑 (☎0980-43-3800)	9名	0名	1名

※詳しいお問い合わせは各施設にご連絡ください。

令和6年2月19日現在